

トーキョーN◎VA The Detonation キャンペーン 公開資料

最終更新日： 2010年12月17日

▼キャンペーントレーラー

今より昔。地球を襲った未曾有の災害、“災厄”。

再び訪れた氷河期に世界が震える中、赤道直下の常春の地で繁栄を続ける街があった。

その街の名は —— トーキョーN◎VA。

富と、名誉と、栄光と、明日と。裏切りと、絶望と、屈辱と、死と。

すべてがある街、トーキョーN◎VAでも秘奥とされた異能の力。

その力を求め、その力を集めた“計画” —— それは、その力により失われた。

……そう、そのはずだったのだ。

一発の銃弾は始まりを告げ、かくしてパンドラの箱は開かれた。

“奇蹟”に成れなかったものたちの“奇跡”の宴。N◎VAの夜、その幕が静かに上がる。

トーキョーN◎VA The Detonation キャンペーン

「“奇跡”の残滓、大いなる“奇蹟” — Vestiges of Wonder, the great Miracle —」

15年の時を経て、運命の扉は開かれる。

▼キャンペーンハンドアウト

PC① 必須スタイル: 「バサラ」

キャンペーンコネ: “記憶の中の少女” セイズ 推奨スート: クラブ

キミは不思議な力を授かった異能力者 —— バサラだ。

その力は世間では“超能力”と呼ばれる類のものであり、キミは良くも悪くもその恩恵を受けて今日まで過ごしてきた。 そんなキミだが、ここ最近は不思議な夢をよく見るようになった。

……それは 15 年前。 超能力研究機関で実験体として扱われていた頃の記憶。

おぼろげな夢の中で、その少女はいつもキミに優しく微笑んでいた——。

PC② 推奨スタイル: 「クグツ」「エグゼク」

キャンペーンコネ: “恩を売る男” 田島 永陸 [“～” タジマ エイロク] 推奨スート: スペード

災厄の街、トーキョーN◎VA の摩天楼に一際大きくそびえ立つメガコーポ、千早重工。

キミの仕事は千早の利益を守り、千早の敵を始末する、千早の企業工作員だ。

それはある日のこと。 激務をこなした帰り、キミは同じクグツである田島永陸から相談事を受けた。

普段は人の弱みに付け込んでまったく悪びれぬ食えない奴だが、これでも一応同僚だ。

話のひとつでも聞いてやるとしようか……。

PC③ 推奨スタイル: 「カタナ」「カゲ」「カブトワリ」

キャンペーンコネ: “曇りある刃” 千賀峯 長文 [“ナマクラ” チカミネ オサフミ] 推奨スート: クラブ

キミは依頼さえあればその自慢の腕を振るう荒事師だ。

これまでに幾つもの依頼をこなしてきたキミだが、未だに決着の付かない相手がいる。

男の名は千賀峯長文。 この街で己が貫くべきスタイルすら満足に貫けない半端者だが、

その腕は確かであり、いずれ決着を付けるべき相手だ。

だからこそ、奴が数ヶ月ぶりに姿を見せた今こそ決着を付けるときだ。 そう思ったのだが……。

PC④ 推奨スタイル: 「バサラ」「カブト」「マヤカシ」 etc

キャンペーンコネ: “時の旅人” 御門 忍 (GXD P.80) 推奨スート: スペード

キミには御門忍という友人がいる。その日、キミは彼女から頼みごとを受けた。

彼女はキミに、この世界に「大いなる危機」が迫っているのだと告げた。

世界最高の予言者であると名高い彼女の予言が外れたことはただの一度もない。

世界の危機とやらが何かは分からないが、困難な頼みに違いはない。気を引き締めてかからねば。

PC⑤ 推奨スタイル: 「フェイト」「トーキー」「イヌ」「ニューロ」 etc

キャンペーンコネ: “還ってきたクロマク” マイケル・グローリー (CG P.105) 推奨スート: ダイヤ

キミは様々な事件や、情報を追うことを生業としている。正義のため? 日々の糧? 興味本位?

その目的がなんであれ、キミがその手段に秀でているのは確かだ。

そんなキミの元を訪れたのは、裏社会に名を轟かせるフィクサー、マイケル・グローリーだ。

誠実だが危険度の高い依頼ばかり寄こしてくる奴だが、金払いはいい。

この依頼は吉と出るか、それとも凶と出るか……。

◎キャストに求められる設定

PC①

- ・15年ほど前、ある施設で実験体として扱われていた
- ・当時のことはほとんど覚えていない
- ・キミを守ってくれていた年上の少女、その夢を最近よく見る

PC②

- ・千早重工の企業人である
- ・後方処理課3班の古株、田島永陸と交友がある

PC③

- ・フリーランスの荒事師、殺し屋である
- ・千賀峯長文というカタナと何度も刃を交えたことがある

PC④

- ・白き狼の御門忍からの信頼を得ている

PC⑤

- ・マイケル・グローリーからの依頼を受ける

備考:

当キャンペーンにおいては、N◎VA以外のメガプレックスが舞台になることが多い。

そのため、〈社会:N◎VA〉を除いた上で、ある程度のレベルの社会技能を取得することが推奨される。

また、N◎VAを離れることが困難なキャストの参加はあまり望ましくない。

▼キャンペーン レギュレーション

システム： トーキョーN◎VA The Detonation

参加可能 PL 人数： 4-5 人

経験点上限： なし

使用可能ルールブック： TND 基本、GXD、CG、STL、TNC、MDI、NTW、GF 各種

(2010/12/22 発売予定のサプリメント、「ワールドオーダー」については保留。実物を見て判断)

使用ルール： 義体ルール、ブランチルール、意識体ルール

(ルール導入に伴う特技、アウトフィット、ルールの変更は最新のものを利用する)

未使用ルール： 切り札ルール、PS ルール、リビルドルール

使用制限スタイル： なし (ただし、クロマクの使用については必ず RL に相談すること)

使用制限アウトフィット： なし

キャンペーン構成： 全 7 話

達成値環境： 上限なし

(目安としては初期 21 環境。段階的に上昇し、最終的には 25~26 環境となる予定)

必要防御神業： 最大 4 個 (アクトごとに変動)

▼キャンペーン オリジナルルール

「ペルソナハンドアウト」と「キーハンドアウト」の使用

本キャンペーンにおいては「ペルソナハンドアウト」と「キーハンドアウト」、2 種類のハンドアウトを用いる。各アクトのプレアクトにキャストたちにはこの 2 つのハンドアウトが与えられる。

「ペルソナハンドアウト」

通常のアクトで用いられる、一般的な形式のハンドアウト。PL 全員に公開される。

「キーハンドアウト」

本キャンペーンでのみ用いられる、特殊な形式のハンドアウト。

アクトにおいて、そのキャストのみが知り得る情報や、知らされた情報、そして開示特典が記されており、その PL と RL 以外には非公開とされる。

本キャンペーンが終了するまで当人と RL 以外にこの情報について知らせることはできないが、アクト中に「**PL が自らの意志で**」公開することを選んだのならば他の PL に公開される。この情報を公開した場合、開示特典として書かれている恩恵を受けることができる。

(続く)

なお、「PL 自らの意志で」開示されるまで、その内容は《完全偽装》などの情報系神業 1 個に相当するゴールデンルールによって「キャンペーン終了まで」隠蔽されている。

<インタビュー>やそれに類する特技、アウトフィットによる強制開示は無効である。

(もちろん《真実》のような神業なら有効だが、あなたにとって重要な真実かどうかは別の話だ)

なお、他の PL に開示した時点でその隠蔽効果は終了する。

(ようするに、開示したことで立場が危うくなるようなものもあるってことさ)

このルールは俗に言う「PC①以外」のキャスト、情報収集が得意でないキャストの PL、TND に慣れていない PL でも、積極的にアクトに参加してもらいたいというのがその目的である。

▼ハンドアウトのサンプル

◎ペルソナハンドアウト

推奨スタイル:「クグツ」 コネクション:”死の右腕”千早雅之 推奨スート:ダイヤ

あなたは N◎VA 随一のメガコーポ、千早重工の後方処理課 3 班に所属する работникだ。

今回キミに与えられた任務。それは、千早系列企業が所有する企業軍に赴き、その錬度を確かめてくるというものだった。

“千早のなんでも屋”の第 3 班とはいえど、こんな任務ははじめてのことだ。

演習とはいえ、相手は千早の企業軍。キミは自分の腕が鈍ってないかが気がかりだった。

●キーハンドアウト

推奨スタイル:「クグツ」

キミの本当の任務。それは千早の企業軍内部に潜伏している“かもしれない”他企業のスパイに気づかれないよう、その事実を探ることである。

3 班が掴んだわずかな情報によれば、相手は超一流、魔導師級のニューロだという。

情報が漏れる虞を除くため、イマドキ CD な電制のない紙の辞令書という念の入り用だ、ここは慎重に行動しなくては……。

開示特典: 企業軍上層部からの万全のバックアップを受けることができる。

アクト中、<社会:企業><社会:軍事>の判定+2、<団体社会:千早企業軍>を外界で使用可